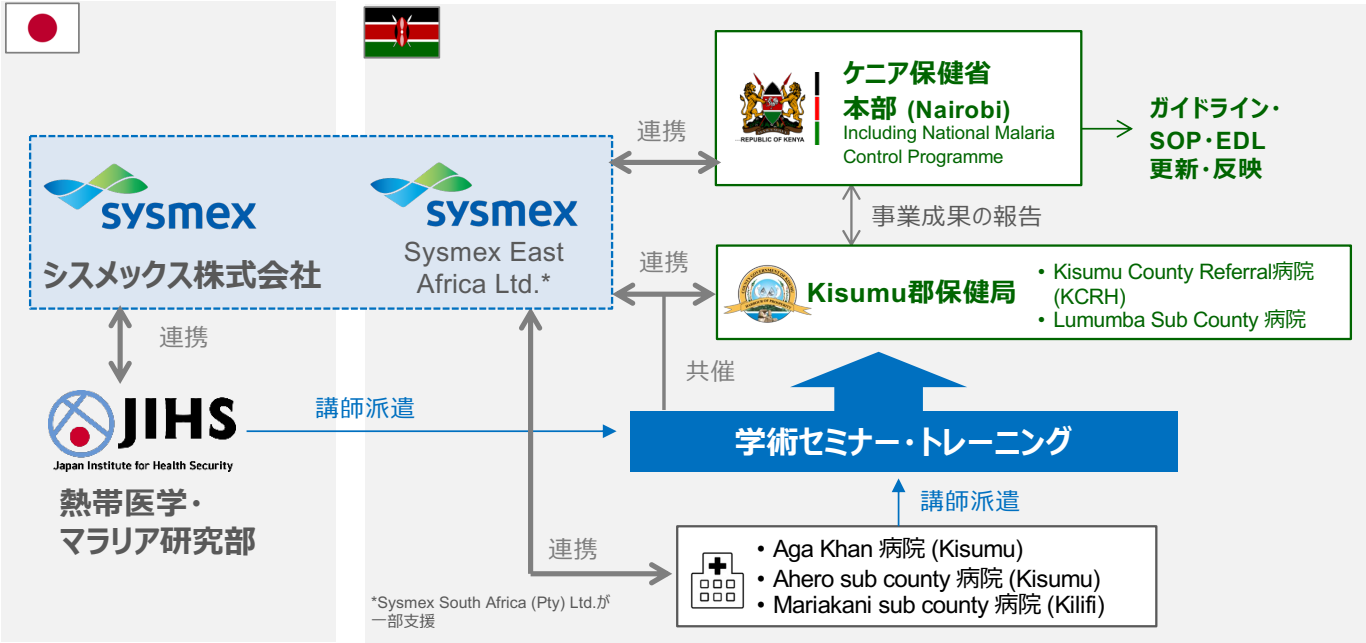


ケニアにおける貧血・マラリア検査自動化技術の標準化・普及促進事業 3年計画の1年目

1. 案件目的：多項目自動血球分析装置 XN-31を活用した貧血・マラリア検査自動化技術の普及促進
2. 案件の概要：本事業は、シスメックス株式会社がケニア保健省傘下のKisumu郡保健局やSysmex East Africa Ltd.等と連携し、XN-31の有用性に関するセミナー・トレーニングを医療機関の医師・臨床検査技師等を対象に開催する。当該セミナーおよび郡保健局主導の評価を通じて課題を抽出し、マラリア・貧血の迅速かつ高精度な検査技術がケニア国家マラリア排除計画およびマラリア診断・治療・予防のガイドライン・SOP・EDL*へ掲載されることを目指す。
3. 案件の成果、着地点：XN-31の有用性が認められ、上記ガイドライン等に掲載される。それにより保健省から国際公共調達の要請を出せることを目指す。ケニアでの活動成果をもとに他のマラリア蔓延国へ展開する。

*SOP: Standard Operation Procedure, EDL: Essential Diagnostic List



令和8年度の研修予定
■ 2026年5月 学術研修、オペレーション研修 (Kisumu) ・ User Experience評価施設を対象とした研修
■ 2026年7月 キックオフセミナー (Kisumu) ・ 日本・ケニアで実施した共同研究内容の紹介、およびXN-31導入施設における活用事例の紹介等
■ 2026年9月 第1回フォローアップ研修 (Kisumu) ・ 学術・技術研修 ・ 医療現場での診断・治療への活用やデータ利活用等、持続的な運用に関するディスカッション
■ 2026年11月 第2回フォローアップ研修 (Kisumu) ・ 学術・技術研修 ・ 医療現場での診断・治療への活用やデータ利活用等、持続的な運用に関するディスカッション
■ 2027年1月 成果報告会 (Kisumu) ・ Kisumu郡保健局が別途実施する性能評価の結果共有 ・ ガイドライン、SOP、EDL等への反映に関する課題・進捗報告